

社会学部

講義名	講師名	講義内容
アウトドア系社会学 ～社会調査とフィールドワーク～	教授/関 泰子	社会学って何？って思う方へ。社会学を支える社会調査とフィールドワークについて説明します。社会調査とフィールドワークのノウハウは社会学だけではなく、他の学問領域にも応用可能。また、社会に出てからも社会人生活を支援し助ける色々なヒントが詰まっています。
ソーシャルキャピタルからみる 現代社会の変容	教授/竹本 達也	人間関係資本なども称される様々な様態の「つながり」にスポットを当て、その社会的意味や歴史的変遷を概観しつつ、私たちが生きている社会の実情をひもといいていきます。
学力が低いのは努力不足のせい？ —学力を社会的視点から見る—	教授/尾場瀬 一郎	これまで学力は、努力の量と比例すると考えられてきた/考えられている。ところが社会的には、子どもの学力は家庭の経済力や文化的環境とより強い相関関係があることがわかっています。今回、子どもの学力が家庭の経済力等どのように繋がっているのか、データを基にして考えてみましょう。
メディアを学問する	准教授/福永 健一	私たちの身の回りには、多種多様なメディアがあります。それらのメディアは、いつからあって、なぜそのような様態として存在しているのでしょうか。また、メディアは私たちの生活様式や考え方をどのように規定しているのでしょうか。この講義では、メディアについて、社会学やメディア論という学問から考えていきます。
「推し」が意味	助教/板倉 享平	誰にでも何か「推し」があり、何かのファンです。わたしたちは日常的にSNSなどで「推し」について感想を見たり、言ったりしています。このような行為にはどのような「意味」があるのでしょうか。私達が日々触れる文化について考えながら、大学で行う「学び」や「研究」とは何かを一緒に考えます。
テキストとして新聞記事を読む	教授/竹本 達也	典型的な活字媒体である新聞は、ネットやSNSが普及した今日なお重要な社会的位置を占めています。しかしながら、いわゆる「活字離れ」といわれる現象の中でその位置が大きく変わりつつあるようにも思えます。そこでこの機会に、ごく基本的な読解の技法をいくつかみていきたいと思います。
そもそもスポーツとは？ これからのスポーツは？	教授/逢坂 十美	スポーツは今や私たちの生活のあらゆる場面、媒体を通じて登場します。オリンピック、ワールドカップのようなチャンピオン・スポーツはもちろん、日常生活のなかで行われるレクリエーション的なものまで、スポーツの楽しみは私たちの生活を彩ってくれるものとなりました。野球やサッカー、バレーボール、陸上競技など、いわゆる近代に発展したスポーツのほか、現在ではElectric Sportsも「スポーツ」とする捉え方も出てきました。ですがそもそもスポーツとは何でしょう。またこれからスポーツはどのように変わっていくのでしょうか。この授業ではスポーツについて「ある問い」から出発し、今後のスポーツの姿を想像してみたいと思います。
フード・ツーリズム	准教授/山中 雅大	日本における観光やレジャーの発展には「食文化」や「食環境」の繁栄が背景にあります。本講義では、「外食」の変化や受容の変遷を視点として、どのように「食の旅=フード・ツーリズム」が誕生し現在に至ったのかを、かいつまんでご紹介します。
発想力開発論	教授/田尾 和俊	「私はアイデアが出ない」「発想力がない」と言う人がたくさんいますが、世の中のアイデアや発想のほとんどは天性の才能が生み出すものではありません。この講義では、アイデアを生み出すための初歩の手法をたくさん紹介します。その「入り口」を知れば、あとは練習を積むことで発想力や創造力はどんどん身に付いていきます。
文系のための「平均」講座	助教/板倉 享平	私たちの生活は数字に囲まれています。テストの点数や、ライブのチケット代、明日の降水確率…。しかし、我々は身の回りの数字の「意味」をきちんと理解しているのでしょうか。本講義では「平均」を中心に、文系にもわかる統計学を学びながら、大学での「数字」と「研究」の重要性を考えます。
なるほど！スポーツトレーニング	教授/片山 昭彦	みなさんが日ごろから取り組まれているスポーツトレーニング。なにげなく行っているストレッチングにも大切な意味があります。そんなスポーツトレーニングの世界を、探ってみたいと思います。ひょっとすると、スポーツパフォーマンスアップにつながるヒントを、見つけ出せるかもしれません。面白く、楽しく、いっしょに学んでいきましょう。そして、健康・スポーツ科学分野により興味を持ってください。
スポーツ文化論	教授/近藤 剛	スポーツはいいもの！スポーツは素晴らしい！スポーツしている人はイケてる！！スポーツに興味・関心がある高校生の多くは、スポーツに対してこのような感情を持っているのではないのでしょうか。でも、それは本当ですか？体罰、暴力、セクハラ・猥褻、いじめ、傷害、障害・死亡、裏金、学力低下…。実はスポーツは、今もなお多くの問題を抱えています。こうした問題を抱えてしまう背景と日本のスポーツ文化について考えてみましょう。